



りんご特報 No.4

令和 7 年 5 月 2 日

J A 中野市園芸課

J A 中野市りんご・もも部会

生育は、ほぼ平年並みの状況です。5 月末まで黒星病重点防除時期が続きます。降雨前の予防散布を心がけるとともに、樹全体に万遍なく散布しましょう。

(調査地区：平岡) *4/28 時点

2025 生育：発芽 4/2 展葉：4/11 開花：4/25 満開：4/28 落花（予想）：5/5 頃

【第 5 回 定期散布】

* 散布時期は目安です。

【定期散布】散布日

____ 月 ____ 日 (____)

散布量

_____ ℓ

散布時期	5/19~25 * 第 4 回定期散布から 14 日以内		
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	
	展着剤（ハイテンパワー）	10ml	
	トランスフォームフロアブル	50ml	（前日、3 回）
	ジマンダイセン水和剤	200g	（30 日前、3 回）
	（カルタス（カルシウム葉面散布剤）	100g）	
対象病害虫	黒星病、黒点病、褐斑病、アブラムシ類、カイガラムシ類、コアオカスミカメ、リンゴワタムシ		
散布量	10a 当たり：400ℓ		
注意事項	①【幼果カルシウム補給】カルタス 1,000 倍を加用する。（今回から 3~5 回連続加用） ②【腐らん病対策】あら摘果終了直後の定期散布にトップジン M 水和剤の 1,500 倍（前日、6 回）を加用する。		

特別散布（黒星病、カイガラムシ対策）

【特別散布】散布日

____ 月 ____ 日 (____)

散布量

_____ ℓ

散布時期	5 月末（5/26~30）		
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	
	展着剤（ハイテンパワー）	10ml	
	ジマンダイセン水和剤	200g	（30 日前、3 回）
	劇ダイアジノン水和剤 34	100g	（30 日前、4 回）
対象病害虫	黒星病、黒点病、褐斑病、クワコナカイガラムシ若齢幼虫、シンクイムシ類他		
散布量	10a 当たり：500ℓ		
注意事項	ダイアジノンは劇物登録農薬です。購入の際は印鑑をご持参ください。		

次面もご覧ください。（第 6 回定期散布、薬剤摘果 他）

【第6回 定期散布】

* 散布時期は目安です。

【定期散布】 散布日

____月 ____日 (____)

散布量

_____ℓ

散布時期	6月上旬(6/2~8) * 前回から14日以内		
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	
	展着剤(ハイテンパワー)	10ml	
	アントラコール顆粒水和剤	200g	(45日前、4回)
	劇ダイアジノン水和剤34	100g	(30日前、4回)
	(カルタス(カルシウム葉面散布剤)	100g)	
対象病害虫	黒星病、黒点病、斑点落葉病、褐斑病、炭そ病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ若齢幼虫、リンゴワタムシ、アブラムシ類		
散布量	10a 当たり: 500ℓ		
注意事項	①【カイガラムシ類対策】アブロードフロアブル1,000倍(30日前、2回)を加用する。 ②【キンモンホソガ、カメムシ対策】キラップフロアブルの2,000倍(14日前、2回)を加用する。 ③ ダイアジノンは劇物登録農薬です。購入の際は印鑑をご持参ください。		

ふじ薬剤摘果

散布時期	5/10~16 * 満開2週間後頃(目通り頂芽中心果の大半が8~10mmの頃)		
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	
	展着剤(アプローチBI)	300ml	
	劇ミクロデナポン水和剤85	83g	
	満開後1~4週間後、 2回以内		
散布量	10a 当たり: 500ℓ		
注意事項	① 効果を高めるために、基本的に単剤で散布する。 ② つがる・秋映には、過剰摘果する場合があるため散布しない。 ③【展着剤】アプローチBIに代えてニーズ1,000倍でもよい。 ④ ミクロデナポンは果柄や果台から発生した新梢(葉)から多く吸収されるため、果実及び花そう葉に十分かかるように散布する。 ⑤ 散布量が少ないと効果が劣る場合があるので、散布量を多めに設定する。 ⑥ ミクロデナポンは劇物農薬です。購入の際は印鑑をご持参ください。		